

# かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 19 No 10

219号

平成23年10月10日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## 還暦を迎えて

## 院長

今月号は事情が有り、発行が遅れてしまい申し訳ありませんでした。実は、ついに10月2日に人生の大きな区切りである還暦を迎えてしまったのです。光陰矢の如しと言われますが、あっという間に過ぎ去った60年でした。この還暦という日を切っ掛けに、少々歩んできた道を振り返ってみたいと思います。

生まれは1951年、昭和でいうと26年になります。東日本大震災の被災地気仙沼で生まれ、物心付く前に仙台に引っ越し高校まで仙台で過ごしました。

1978年に杏林大学医学部を卒業し、仙台に戻り国立仙台病院(現仙台医療センター)小児科で研修を始めました。1981年国立小児病院新生児科、その後仙台赤十字病院NICU、日立製作所日立病院新生児科を経て、1993年に「かわむらこどもクリニック」を開業しました。

新生児医療では、先進的な医療とともに、母親に対する精神的ケアの重要性を学びました。重症な子どもを目の前にして母親は、時として三重苦を背負ってしまうことがあります。その三重苦とは、子どもの命や未来に対する心配、産んだ責任と後悔、時には非難の矛先さえ向けられることがあります。そんな母親も、我が子を支えにして、子どもとともに成長していくのです。新生児医療を通して、お母さん方から多くのことを学びました。学んだことを開業に活かすために、「お母さんの不安・心配の解消」を理念に掲げたことは、ご存知の通りです。

開業以来の子育て支援活動は、すべて理念から生まれたものです。理念は掲げるだけでは、何の意味もなく役にも立ちません。理念を形にするための最初の取組みが、「かわむらこどもクリニックNEWS」です。また、理念を全国に広めるために「かわむらこどもクリニックHOME PAGE」、インターネット医療相談、更にはコミュニケーションの確立の大切さから「お母さんクラブ」とつながっていったのです。その後も、患者さん専用メール、医学生実習受け入れ、Mail News等へと発展していきました。

医師は教科書から学ぶことは一部で、患者さんから多くのことを学びます。未熟児や病気の子どもの産んだお母さんは悲嘆のため悲しみの涙を流します。母親は強いもので、弱々しかった姿がいつの間にか逞しくなり、退院時には「私に任せて」とばかりに喜びの涙を見せてくれました。そんな、悲しみと喜びの涙で育てられたことから、多くのお母さんたちの恩に報いるため、そのことを地域医療に役立て

るため、開業にあたり理念を掲げたものでした。医療や様々な活動を続けていくためのモチベーションは、多くの人たちからの評価です。医師にとって最も大きい評価は、患者さんの「ありがとう」の言葉です。

今年は様々な意味でも区切りの年と感じていました。仙台市医師会学術奨励賞受賞、数多くの講演、そして日本外来小児科学会優秀演題賞受賞。これらも多くの方々の評価のお陰と思っています。更には、仙台小児科医会の会長として復興支援に協力できたことには、多くの小児科医たちの協力無くしては成し得なかったものと思っています。

病気が治った後のお母さんの笑顔と「ありがとう」、HPアクセス者からの感謝のメール、医療相談に対するお礼、患者さん専用メールでの感謝、激励や心配、「お母さんクラブ」への参加、そしてMail Newsへの登録や「ありがとう」の言葉。怪我をした時にはお見舞いのメール、震災時は心配や激励のメールなど、どれほど多くの人たちから「温かい心」を頂いたか数えきれません。今回の還暦に際しても、多くのお母さん、そして子どもたちから温かい気持ちを頂き、とてもうれしい誕生日であるだけでなく区切りの日を迎えることができました。ひょっとしても、しなくても日本一幸せな小児科医と思っています。

今、こうして還暦を無事迎えることができ、順調な道を歩めたことは、患者さんはもちろんのこと、顔も知らない多くの人たちに支えられてきた証拠です。これまでの支えが無ければ、現在続けている活動も挫折したかもしれません。さらに、震災後の不自由な環境の中、不平不満を言わず一日も休まず働き、院長の対応をやさしくフォローしてくれ、休めと言っても休まないスタッフは、金のわらじで探しても見つからない素晴らしい仲間です。感謝しても、しきれません。そんな頼りがいのあるスタッフから、年の数の赤い薔薇とお祝いを頂き、しみじみ幸せを感じ目頭が熱くなる思いでした。

還暦をひとつの区切りとして、家族、スタッフ始め、ここまで支えてくれた多くの人たちに感謝いたします。本当にありがとうございます。

さて還暦の意味は、生まれ変わるという意味です。生まれ変わってからも、これまでも多くの人たちから寄せられた「温かい心」に応えるために、「継続は力なり」の言葉を支えに精進しなければならぬと感じています。

生まれ変わったばかりの赤ちゃん小児科医ですが、これからもどうぞよろしくお願いたします。



## 10月のお知らせ

- ・臨時休診  
15日(土)  
東北北海道小児科医会連合会(新潟)
- ・学生実習  
7日(金) ご協力を!
- ・栄養児相談  
5、19日 栄養士担当  
参加無料

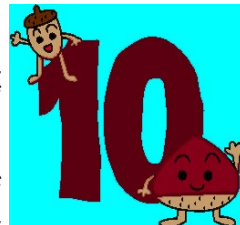


『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』  
“みんなでやれば、大きな力に”

## 読者の広場

先月は25通のメールを頂きました。まずは宮城野区の匿名さんから「〇〇です。アドレス違いますが、携帯電話からメールさせて頂きました。

今日もお世話になりましたm(\_\_)m昨日〇〇が初めてじんましんを出して、夕方遅かった事や、不用意に初めての物を食べさせた後悔や、〇〇がかなり痒がっていたりした事で、少しテンパり気味で近くの病院に駆け込みました。その病院の先生にもお菓子とゼリーを食べたことを話たのですが、「こうゆうゼリーを小さい子に食べさせたら、窒息するんだ」とか(もちろん丸のみさせただけではなく、ちゃんと食べさせてあげたのですが、それでもダメだと言われ)、「だいたい一歳半で八キロしかないのにお菓子なんかあげないでちゃんとしたものを食べさせた方がいい」とか、切々と話をされ、その間も〇〇はかなり痒くて、泣きながらかきむしっていて、自己嫌悪になり、落ち込んでいました。しかも出された薬はステロイド入りを5日間飲みきりと言われ不存にもなって、今日は症状はなかったものの、かわむら先生に診てもらいにいきました。不用意にあげた私が悪かったので、先生にも色々言われちゃうかな...なんて思ったりもしていたのですが、先生は優しく「あげちゃったものは仕方ない」と言ってくれさり、更に細かくアレルギー物質が何かも考えて下さって、とても嬉しかったです!本当にありがとうございましたm(\_\_)m薬も軽いものに変えて頂き、不存もなくなりました(^\_^)本当に今日行ってきて良かったです。これからも、たくさんお世話になると思いますが、3兄弟妹をよろしくお願いいたしますm(\_\_)m本当にありがとうございました(^o^)(。ともかく病気で受診するのですから、まずは安心、心配を取り除くことが大事です。自分も厳しいところがありますが、子どもが辛い思いをしているのに放っておく、約束を守らない、先入観が強すぎる時などは、叱る場合もあります。しかし今回の場合は、全く違うので不安をとることを優先すべきだと思いました。もう一つはうれしい報告で、宮城野区の上村さんからもらいました。「昨日9月1日15:20!!2588gの元気な男の子が産まれました♪37週だったので若干小ぶりですが、元気モリモリですV(^-^)^V持ちこたえて良かったです。2ヶ月健診から先生の所でまた1人お世話になります(^o^)^名前『上村虹(こう)』です!昨日、紮の薬を貰いに行く予定でしたが、急に進んでしまっただけで産まれてしまい行けませんでした。吸入器も借りっぱなしですみませんm(\_\_)m退院したら伺います★スタッフの皆さんにも宜しくお伝え下さい!」。震災の時には出血が有り大変でしたね。無事元気な子が生まれて、何よりでした。産まれた日の写真まで添付されて、本当にうれしいメールありがとうございました。吸入器使わなくなったら返してください。後がつかえてますから(笑)。



還暦に際して、多くのお母さんや子どもたちからお祝いの言葉をいただきました。自分のお菓子を分けてくれたり、花やお菓子も届けて頂きました。この場をお借りして、お礼いたします。皆さんありがとうございました。



## 9月の感染症の集計



先月より減少しましたが、まだまだ60人近い手足口病のお子さんがいました。流行しているウイルスは2種類あるため、二度かかることがあります。発疹も大きく、手足以外に身体にもみられるのが特徴です。ヘルパンギーナと同じウイルスでは、少し高い熱が出るようです。ヘルパンギーナと診断したら、手足口病ということもありました。爪の変化がみられ、はがれることもあります。生え変われば問題はありません。

## Mail News, Twitter, Blog の紹介



Mail News は、震災を切っ掛けに360人を越えるお母さん方に登録をいただいています。右上のバーコードから「登録希望」と登録者、お子さんの名前を送信してください。

携帯用HP(左のバーコード)でMail NewsとTwitterも読めます。両方で情報を提供していました。Blog(右下バーコード)では、震災の始まりからの詳しい状況を写真入りで紹介してあります。是非お読みください!



## 予防接種のお知らせ

### インフルエンザワクチン予約開始

13歳未満2回 13歳以上1回

料金(1回)3150円(消費税込)

今年は従来通りの任意接種に戻ります。接種量が変わり3歳未満0.25cc、3歳以上0.5ccとなります。また今年は国家検定を通らなかったワクチンもあり、接種量が増えたことと相まって、ワクチンが足りなくなる恐れがあります。

接種は10月下旬からですが、早めの予約をお願いします。

## 『お母さんクラブ』のご案内

### 「栄養士さんの話」

10月27日(木)14:00~ 福沢市民センター 会費200円

アイクレオ株の栄養士さんに、手作りお菓子の作り方と試食会、読み聞かせ、栄養相談も行ないます。昨年大好評だったので、多くのお母さんの参加をお待ちしています。お土産付かも??

予防接種が一部変更になりました(日本脳炎、震災救済) 詳細は院内掲示、Blogをご覧ください

## 編集後記

ついに還暦を迎えてしまいました。たぶん多くの皆さんは、まさかと思っているかもしれませんが、見た目には若そうに見えますが、中身はそろそろポンコツです。でも若さを保っていられたのは、子どもたちや若いお母さんを相手にしていることかもしれません。あまりオジン臭くならないようにしますが、もうしばらくよろしくお付き合いください。



『お母さんクラブ』は、9月から再開再開しました。楽しいことも大切です。是非ご参加を!!

震災でのクリニックの対応・院長の取組み・患者さんからのメール・被災状況は、Blog「こどもクリニック四方山話」で!!